

部局名	健康福祉部	所属名	長寿支援課	所属長名	土井 芳則	電 話	483-1151 内線2220
-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	9143		事務事業名称	一般管理費						短縮コード	経常	9143	臨時	
予算区分	会計	37	後期高齢者医療特別会計	款	01	総務費	項	01	総務管理費	目	01	一般管理費		
区 分	☐ 自治事務 ☒ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		高齢者の医療の確保に関する法律							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
平成21年4月より後期高齢者医療制度が開始され、市町村事務である申請等受理、被保険者証の交付等の保険者としての事務や、後期高齢者医療制度の円滑な運営を行うための環境整備を行う事業です。														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	01	健康福祉都市をめざして							
今後高齢者医療制度改革が見込まれており、それに伴う環境整備や周知が引き続き必要です。					大項目（節）	01	保健・医療							
					中 項 目	02	医療							
					小項目（施策）	01	地域医療体制の整備・充実							
					細 項 目	02	医療費の給付等							
				実施計画の計画事業										
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～			計画事業費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	後期高齢者医療被保険者（75歳以上及び65歳以上で一定以上の障害があり認定を受けたもの。）							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成22年度に実際に行ったこと： 後期高齢者医療制度における市町村事務のうち、被保険者証の交付、各種申請の受理等の運営における一般管理事務を行った。							
	※平成23年度に計画していること： 平成22年度と同様に行う。							
意図 （何を狙っているのか）	後期高齢者医療制度の円滑な運営を行うこと。							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	21年度	22年度		23年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	後期高齢者医療被保険者	人	13,639	14,413	15,225	16,996	
	指標2							
	指標3							
活動指標	指標1	被保険者証再交付処理件数	枚	471	500	564	500	
	指標2							
	指標3							
成果指標	指標1	成果指標とできるものがない。	なし					
	指標2							
	指標3							
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード		9143	事務事業名称	一般管理費			所属名	長寿支援課
			単位	2 1 年度	2 2 年度		2 3 年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円	0	0			
		県	千円	0	0			
		地方債	千円	0	0			
		一般財源	千円	22	0	38	1	
		その他	千円	22, 536	14, 885	13, 497	14, 278	
	主な事業費の内訳			通信運搬費 1, 882千円 使用料及び賃借料 4, 627千円 委託料 14, 735千円	通信運搬費 2, 774千円 使用料及び賃借料 5, 117千円 委託料 5, 390千円	通信運搬費 1, 826千円 使用料及び賃借料 5, 117千円 委託料 5, 390千円	通信運搬費 2, 274千円 使用料及び賃借料 5, 117千円 委託料 5, 390千円	
	人件費 (B)			千円	41, 245. 8	34, 160	39, 027. 8	34, 160
トータルコスト (A) + (B)			千円		63, 803. 8	49, 045	52, 562. 8	48, 439

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分		理 由				
目的 妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☐ 結び付いている		事業区分「法定受託事務」のため評価対象外				
			☐ 結び付くが見直しの余地がある						
			☐ 結びつきが弱い・ない						
			☒ 評価対象外事項						
目的 妥当性	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している		事業区分「法定受託事務」のため評価対象外				
			☐ 達成していない						
			☒ 評価対象外事項						
目的 妥当性	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある		事業区分「法定受託事務」のため評価対象外				
			☐ 可能性はない						
			☒ 評価対象外事項						
目的 妥当性	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☐ 現状のままでよい		事業区分「法定受託事務」のため評価対象外				
			☐ 見直す必要がある						
			☒ 評価対象外事項						
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－2，3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある		千葉県後期高齢者医療広域連合において事業を行っており，市町村は窓口業務が主となることから，有効性や効率性を向上させる可能性はない。				
			☐ 効率性向上の可能性はある						
			☐ 両方可能性はある						
			☒ 可能性がない						
	⑤－2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 民間委託等						
			☐ 臨時的任用職員等の活用						
			☐ I T 化等の業務プロセスの見直し						
			☐ 受益者負担の見直し						
			☐ 類似事業との統合・役割見直し						
			☐ 上記以外の方法		類似 事務 事業 名称	1		実施主体 (所管部署)	
						2		実施主体 (所管部署)	
	⑤－3 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☐ ある						
			☐ ない						

コード	9143	事務事業名称	一般管理費				所属名	長寿支援課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			平成24年度いっばいで後期高齢者医療制度が廃止され、新たな高齢者医療制度に移行することとされております。今後新たな制度がどのように運営されるのか見守る必要があります。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			後期高齢者医療制度被保険者は増加傾向にあります。これに比例し、事務量・コストとも増加が見込まれます。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☐	☒		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
制度に対する意見等は未だに多く存在しますが、運営に対する意見は特に発生していません。	

所属長コメント	後期高齢者医療制度の被保険者についての資格・給付・保険料徴収等に係わる台帳管理及び広域連合とのシステム連携、並びに資格・給付・保険料等に係わる窓口業務などを管理している事業であるめ、このまま継続して実施してまいります。	
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続	担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。
	☐ 手法プロセスの改革・改善	
	☐ 事業規模の拡大・縮小	
	☐ 統合・役割見直し	
☐ その他		
☐ 廃止・休止		
☐ 事業完了		
☒ 現状のまま継続		